

学校の現状・課題

- ・より良い学校づくりと働き方改革の両立が難しい
 - ①生徒のために勤務時間の内外にかかわらず注力するという意識が依然として根強い為、働き方改革が軽視されてしまう。
- ・組織体制や業務の硬直化により校務の変革が難しい
 - ①日常的に余裕がないため、業務が前例踏襲になりがちである。
 - ②ICTの活用に不慣れな職員が多いため、校務DXが広がらない。
- ・学校の課題解決に向けて職員一丸となった取組が必要
 - ①生徒確保に向けて学校の魅力を高める必要がある。
 - ②職員同士が協力し合い、支え合う組織の構築が不可欠である。

ビジョン（目指す姿）

- ・教育の質の向上につなげる働き方(働きやすさ・働きがい)改革を推進
 - 【目標指標】・「教育の質が向上した」との回答 100%
 - ・「働きがいを持って働けている」との回答 100%

実施計画（ロードマップ）

月	指定校	コアチーム	支援チーム	
4月	学校経営方針の提示(校長)	コアチームの編成		
5月	自校の課題を全職員で共有	職員アンケートの実施① 改善策の検討・提案	指定校の課題交流 相談・助言(随時)	
6月	(主な取組) ○授業改善 ○校内研修の充実 ○ICTの積極的活用 ○生徒対応の連携 ○教育活動の充実 ○地域との連携 ○執務環境整備	各職員による取組		
7月				取組状況の確認 (訪問指導)
8月			職員アンケートの実施② 進捗管理・フォローアップ 新たな改善策の検討・提案 学校HPでの発信	相談・助言(随時)
9月				
10月				
11月				
12月				
1月		職員アンケートの実施③ 意識の変化の分析・検証	相談・助言(随時)	
2月				
3月	取組の成果を全職員で共有	事業の総括 学校HPでの発信	成果・課題交流	

取組結果